



桜町本通り商店街振興組合



キャッチフレーズ

八日市の賑わいと景観整備、
来街者にやさしい街

事業実施の背景

桜町本通り商店街は、豊田市駅から程近い中心市街地に位置する商店街である。平成 17 年に実施したファサード整備は商店街の景観を一変させ、イメージの向上に貢献している。

また 50 年前から続く伝統の「八日市」は、30 年前に商店街から拳母神社境内に主会場を移した後も、商店街では店頭でのワゴン販売による連携した売り出しを行っており、平成 18 年からは独自の「八日朝市」を実施することにより商店街の認知度を高め、来場者の増加を目指している。

事業の概要

ワゴンセールと八日朝市



毎月開催される拳母神社の「八日市」に合わせ、商店街の各店の店頭でワゴン販売を行っている。平成 18 年 7 月からは「八日朝市」として産直野菜、五平餅、漬物などの販売を行っている。

桜をイメージした景観整備



<桜をイメージした統一装飾>



<隣接する民家もファサード整備に協力>

20 年前にアーケード撤去、電線地中化を行っているが、さらなる特徴づくりと歩いて楽しいまちづくりを目指し、各店舗に桜をイメージした統一装飾をするファサード整備を行った。あわせて市が、自然石による舗装、バリアフリー化を行った。

事業の効果

- ・ ファサード整備により街の景観が著しく向上し、商圈が拡大するとともに、来客数も増加している。ある店では売り上げが整備前の 1.5 倍になったとのこと。もともと商店街には買回り品を扱う店が多く商圈が広いため、効果が大きい。
- ・ ファサード整備とそれに伴う個店の改装により、街全体に高級感が漂い、顧客を誘引する魅力がアップした。出店者の引き合いも来ており「桜町本通り商店街」のブランド力を大いに向上させたと言える。
- ・ 「八日朝市」は、農産物を生産者が直接販売することで、消費者の食の安全思考をくすぐり、売り上げを伸ばしており、商店街の賑わいを演出している。

事業の課題

毎月、拳母神社で開催される八日市には平均 7 千人の来場者があるが、そのうち当商店街を通過して会場に向かう人数は 2 千人程度である。当商店街は組合地区が狭くまた空き地が無いために大きなイベントを行うのは困難であるため、拳母神社と連携し、商店街へ客を誘導する方法の検討。

桜町本通り商店街振興組合

所在地：豊田市（名鉄三河線豊田市駅東）

